



株式会社

晴工雨読

Seiko Udoku



晴工雨読の使命

すべての農林水産業従事者に
心穏やかに暮らせる未来を

農林水産業に従事する方々の苦労は計り知れない。
その大変さを理解し、その負担の軽減と、
その生産性の向上のために
我々は大きな課題に挑戦する。



晴工雨読の行動方針

緑の未来、技術の手で
- 農林水産の革新をAIとともに -

農林水産領域におけるAIによる就労者の負担軽減と、売上向上を目指して

晴工雨読の事業

きくらげ栽培における AI活用技術の開発事業



AIによる 作業内容の標準化

- ・ キクラゲの位置検出
- ・ 成長度合いの判別



収穫ロボットによる労 働負担の軽減

- ・ 丁寧なキクラゲの収穫
- ・ 機械化による効率化



きくらげ栽培におけるAI活用技術の開発事業

きくらげ生産者の悩み・現状



過酷な
労働環境



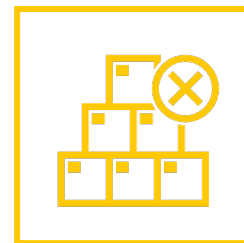
経験を問われる
収穫の見極め



若者・人手不足



販売単価の
低迷



廃棄コスト
による支出

多くの問題が農業全般に共通する





過酷な労働環境

農業の中でも始めやすい「きくらげ」、だがその生産現場は**過酷**



厳しい温度・湿度

- ・湿度 95%
- ・温度 40℃

筋肉や骨など身体への負担

- ・収穫のため中腰や屈む姿勢を強いられる
- ・大量の収穫物を運ぶため重労働となる



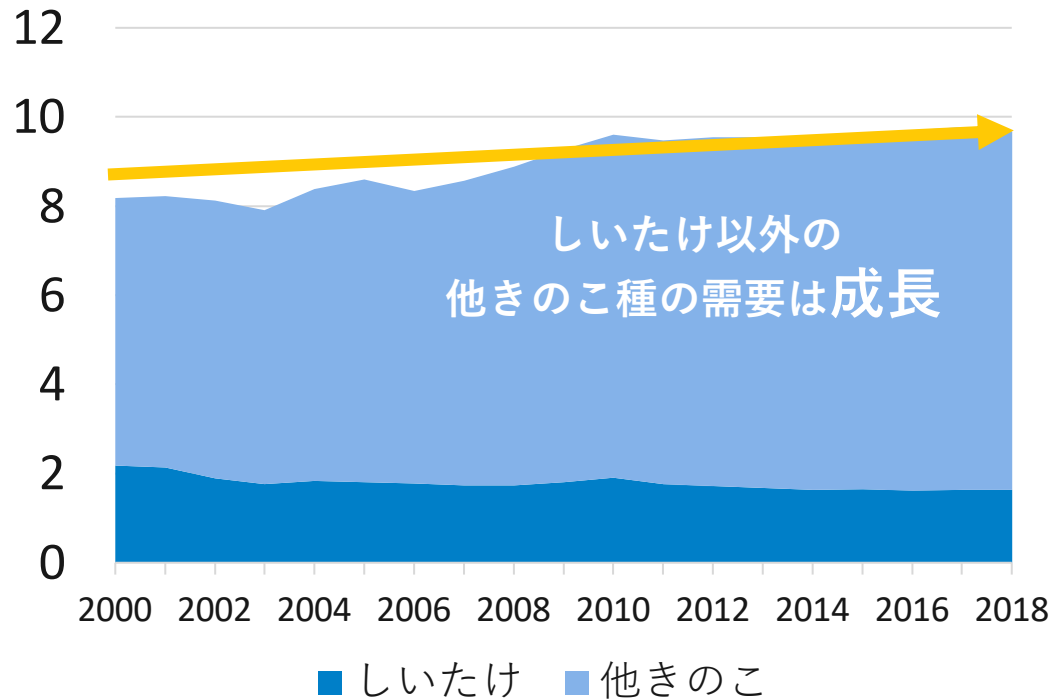
きくらげ栽培におけるAI活用技術の開発事業

きくらげの国内における需要と供給

ガリバーも技術革新もなく、需要の増加に国産きくらげの供給が不足傾向に

きのこ類の年間世帯購入量の推移

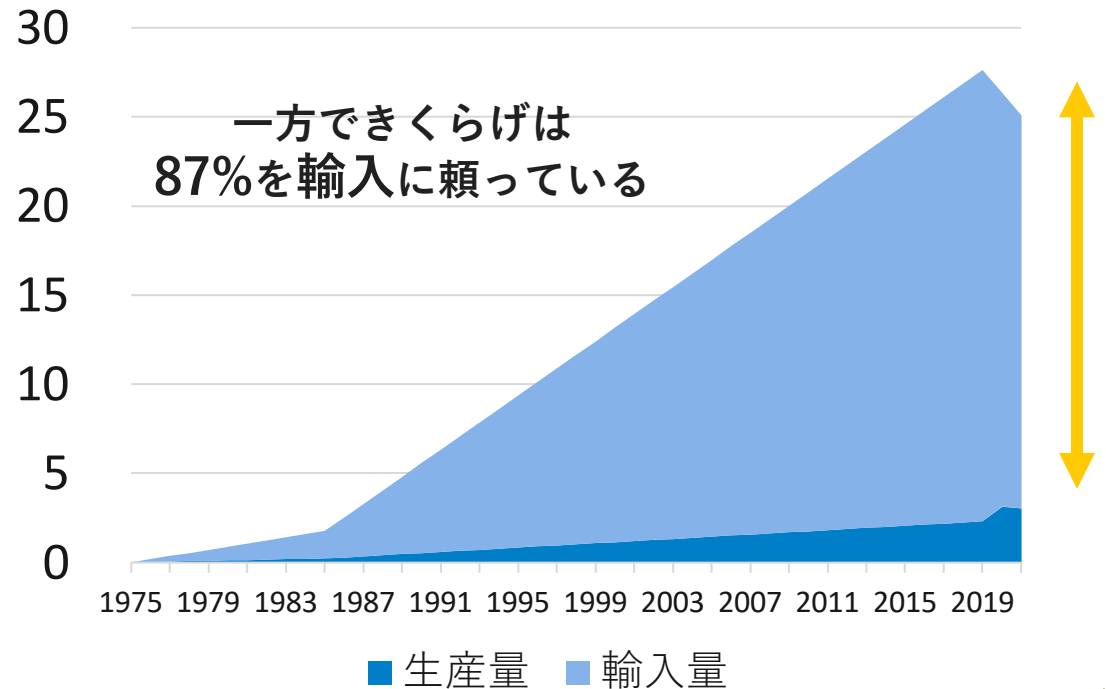
単位：kg



出典：総務省「家計調査」

きくらげの輸入・国内生産のバランス

単位：kt



出典：林野庁「特用林産物生産統計調査」※データが無い年は線形予測で補間



晴工雨読の事業

スマート漁業・養殖業技術の 開発事業



AIによる 作業内容の標準化

- ・ キクラゲの位置検出
- ・ 成長度合いの判別



水中ドローンによる労 働負担の軽減

- ・ 遠隔による作業



スマート漁業・養殖業技術の開発事業

養殖業における現状

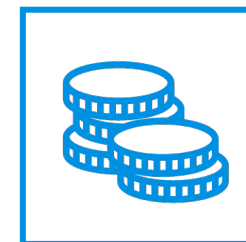
養殖業の生産量が増えない原因の一つにその過酷な生産現場がある



3Kで厳しい
労働環境



新規参入の
難しさによる
後継者不足



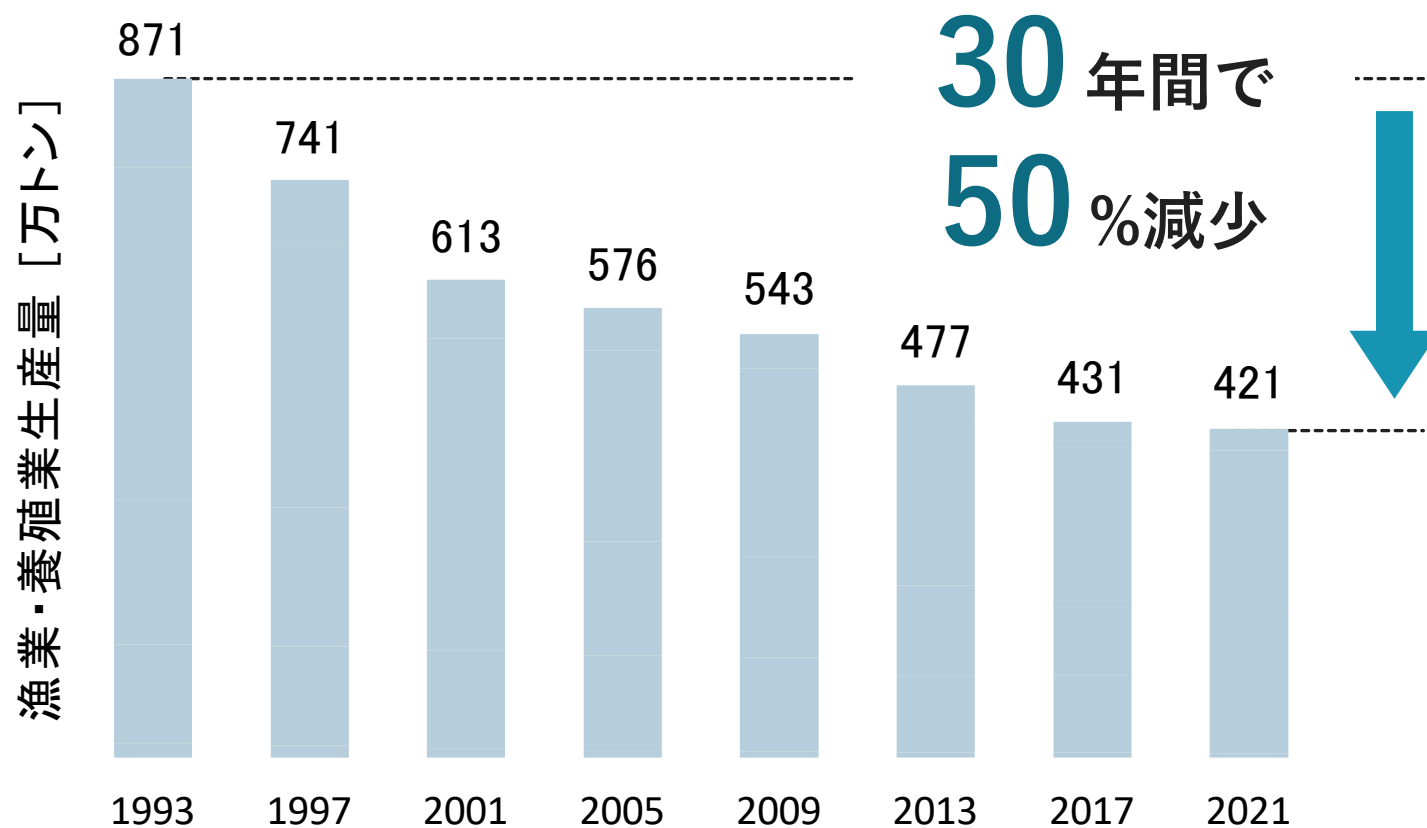
採算が
取りづらい



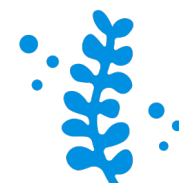
スマート漁業・養殖業技術の開発事業

水産業の衰退

気候変動は、水産業に悪影響を及ぼしており、持続可能な漁業管理が求められている



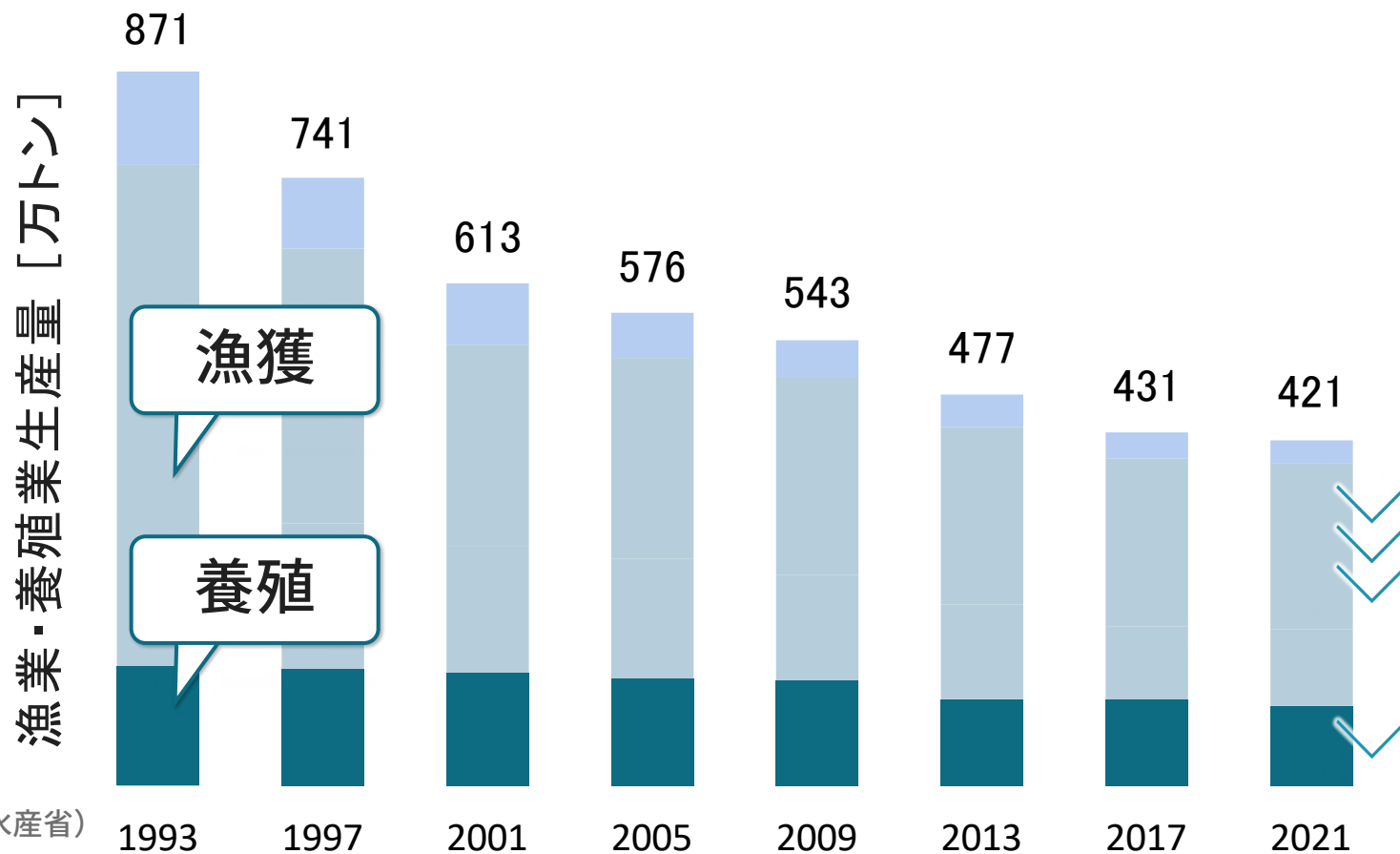
出典：海面漁業生産統計調査
(農林水産省)
「令和3年漁業・養殖業生産統計」



スマート漁業・養殖業技術の開発事業

水産量の内訳

養殖業の生産量が増えない原因の一つにその過酷な生産現場がある。



出典：海面漁業生産統計調査（農林水産省）
「令和3年漁業・養殖業生産統計」



晴工雨読がやる理由

機械学習
深層学習応用

×

農林水産における
ノウハウ

効率的な生産

水産分野において

- 自動化による省人化・コスト効率化
 - コストを効率的に生産量につなげ、売上向上を見込む

農業分野において

- 低コスト栽培の実現と都市近郊への展開
 - 土地効率とともに空調効率も良くなるため、初期費用・ランニングコスト共に抑えられる

おわりに

緑の未来、技術の手で
- 農林水産の革新をAIとともに -

受け継がれてきた「レガシー」
×
進化する「テクノロジー」



株式会社

晴工雨読

Seiko Udoku